

学校だより 浅海



2022
10

松山市立浅海小学校
2022. 10. 3

読書の秋です！

校長 秋山 徹也

先日、ふらっと本校の図書室へ行きました。以前から度々ホームページでもご紹介している通り、本当にきちんと整備され充実しています。いつもは入り口付近のコーナーのみを見るだけなのですが、そのときは、何かに引き込まれるように奥まで入って行きました。ぐるっと見終わった後、胸像と冊子が目に入りました。冊子のタイトルは、「悔なき人生」（井手鉄一氏伝）。「井手文庫」の存在は知っていたものの、それを寄付してくださった井手鉄一さんのことは、恥ずかしながらほとんど存じ上げませんでした。

この機会にと、自伝の冊子を読み少し調べてみると、井手文庫のみならず、昭和28年からテレビや遊具など、たくさん寄付してくださったことが分かりました。特に井手文庫には、毎年20万円相当もの本を送ってくださっていたそうです。そして、昭和56年には、現公民館横の旧浅海小学校図書館を建ててくださったのです。そこに至るまでには、現代では考えられないほどの大変なご苦勞をされたようですが、ご自身の出身地とはいえ、なぜ、これほどまでに浅海小学校のためにご尽力くださったのでしょうか。それは、「浅海の方々は、松山の空襲で焼け出されてきた私たちを助けてくださった大変優しいの方々です。」（冒頭の自伝より）とあるように、ご自身が本当にお辛い折に助けていただいた浅海の方々への「感謝」と、「私は、家庭の都合で勉強したくてもできない環境下にあったものですから、浅海小学校の子どもたちによい有能な子になってもらいたい」（同）との熱い思いによるものであったようです。この鉄一さんの思いは、今もしっかりと引き継がれているように思いますし、浅海の穏やかで情に厚いお土地柄も、今も昔も変わらないのだなと感じました。

手のひらの上で世界とつながることができる現代。読書の形も変わりつつあるかもしれませんが、改めて鉄一さんの思いを知り理解したうえで、「読書」について考え、実践してみてもはどうでしょうか。

「ふらっと」「引き込まれ」たのは、鉄一さんに呼び止められ、「校長さん、頼みますよ！」と思いを託されたのではないかと感じています。ぜひ皆さんも、鉄一さんの思いに触れるべく、本校自慢の「そよかぜ図書館」に、一度お越しください。

自伝の引用部分は、少し表記等を修正させていただきました。





校内造形大会



6年生



2年生



1年生



3年生



5年生



4年生

9月9日（金）に校内造形大会を行いました。1年生は「ふしぎないきもの」、2年生は「友だちハウス」、3・4年生は「森のげいじゅつ家」、5・6年生は「未来のわたし」をテーマに、思い思いの作品を作り上げました。

低学年は午前中いっぱい、中・高学年は午後も作品作りに取り組み、黙々と集中して、時には友達と相談しながら、充実した時間を過ごすことができました。

歯みがき巡回指導を行いました



9月22日（木）に歯科衛生士による、歯みがき巡回指導を行いました。虫歯や歯周病について学んだ後、歯垢染め出し液を使って歯みがきができていない部分を確認し、正しい歯みがきの仕方を復習しました。

今年度は、高評価をいただいた児童が、昨年度より多くいました。中には、昨年度の指導から口腔内の状態が劇的に改善されている児童も見受けられ、浅海っ子の歯みがきへの意欲に、歯科衛生士も大絶賛する結果となりました。

